秋田県立秋田中央高等学校
ラグビー部

創部70周年

記念式典・祝賀会

秋田県立秋田中央高等学校ラグビー部OB会

秋田県立秋田中央高等学校校歌

（昭和36年11月25日制定）

作詞　山田千之
作曲　井上武士

一、かがやく　峰の　太平に
祖国の夢を　育くみて
朝な夕なに若人の
理想を　ともに　語るもの
さざめく校旗は　われらの校旗は
めざすよ　自主の　はばたきを

二、寄せては　ひらく　日本海
しぶきの花に　目ざめつつ
きよく生い立つ　瞳こそ
正義を　つねに　叫ぶもの
明けゆく道は　われらの道は
かざすよ　文化の　高鳴りを

三、みどりの丘の　高清水
ゆたかなさちを　いろどりて
仰ぐ先哲　まなびつつ
歴史を　あらた　飾るもの
誓いの汗は　われらの汗は
描くよ　世紀の　躍進を

ラグビー部部歌

北風のただ中に　白雪踏んで
球蹴れば奮い立つ　ラグビー中央
抜山の威力　蓋世の意気
ラグビー中央　ここに在り
吾等がフィフティーン
フェアープレー中央　ダッシュアンドゴー

灼熱の炎天下　肉弾相搏つ
青春の血は躍る　ラグビー中央
敢斗の熱　あふるる気力
ラグビー中央　いざ進め
吾等がフィフティーン
フェアープレー中央　ダッシュアンドゴー

世の中は荒れ狂い　道地に堕つるも
厳として揺るがざる　ラグビー中央
ひたすらに往け　大丈夫のみち
ラグビー中央　いざ共に
吾等がフィフティーン
フェアープレー中央　ダッシュアンドゴー

ご　挨　拶

秋田県立秋田中央高等学校
ラグビー部創部 70 周年記念事業
実行委員長　長谷川　　寛

昭和 21 年秋田市立中学校時に、創部した母校ラグビー部も今年で 70 周年を迎えました。これもひとえに多くの皆様のご支援のおかげと厚くお礼申し上げます。

今年 2 月の OB 会入会式において、初代吉田先輩より創部当時のお話を講演して頂き、非常に苦労して産声を上げた事が胸に刻まれております。

70 年の歴史の中で、国体 3 回出場（大分国体時優勝）、全国選抜大会 5 回出場、花園出場 10 回と輝かしい成績を収めてきました。特に、平成 14 年に古谷監督が就任してからは、平成 19 年に金 OB 会顧問が出場して以来 42 年ぶり 6 回目の花園出場を勝ち取り、平成 23 年には秋田県のラグビー史上に残る劇的な逆転劇にて 8 回目の花園出場を果たすなど、60 周年からこの 10 年間で 5 回花園出場を果たしており、古谷監督の熱意と高い指導能力の賜物だと思っております。

今後、部員、学校、父母会、OB 会が一丸となって、部員達が目標に掲げた「日本一」を達成すべく努力を重ねていく所存でありますので、秋田中央高校ラグビー部へ皆様からの更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。

ご　挨　拶

秋田県立秋田中央高等学校
ラグビー部ＯＢ会
会　　長　海　野　達　雄

本日は、ご多用中にもかかわらず、秋田県立秋田中央高校ラグビー部創部 70 周年記念・祝賀会にご臨席いただきまして、ありがとうございます。

本校ラグビー部は、戦後間もない昭和 21 年に創部され、本年で 70 周年を迎えることとなりました。

このことは、ひとえに学校関係者、そして県内ラグビー関係者の皆様によるお力添えがあってのことと、重ねて感謝とお礼を申し上げます。

これまでの秋田中央高校ラグビー部の歴史の中では、低迷した時期が長く続いたこともありましたが、各年代の部員たちは、ひたむきに母校の誇りをかけて競い、試合が終われば勝敗に関係なくお互いの健闘を称え合いながら、友情と絆を積み重ねてまいりました。

そのような秋田中央高校ラグビー部が、創部 60 周年の翌年となる平成 19 年、実に 42 年ぶりとなる 6 度目の全国大会出場を果たすことができました。

この年の花園には、この日を待ち望んでいた多くの OB が全国各地から駆け付け、試合中における選手たちの一挙手一投足に大いに盛り上がったことが、昨日のように思い出されます。

その後も部員たちを統率する古谷監督以下、各指導者のご尽力により昨年までに全国大会出場を 10 回まで伸ばしておりますが、これからも全国大会優勝という高い目標を掲げ、その目標を現実のものとするには弛まぬ努力が必要であり、困難な過程なくしてありえません。

夢のようなことと断念するのではなく、目標に向かってひたむきに努力すること自体が高校生として尊いことだと思っております。

これから先の未来に向かい秋田中央高校ラグビー部が新たな歴史を築いていくためにも、本日ご臨席を賜りましたご来賓の方々をはじめ、ご列席の皆様方には、引き続きご支援を賜りますようお願いを申し上げます。

創部70周年によせて

秋田県立秋田中央高等学校
校　長 渡　部　克　宏

秋田中央高校ラグビー部は本年をもって創部70周年を迎えることになりました。創部以来、部を支えていただきました諸先輩や本県ラグビー関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。

他競技と比べてのラグビーの大きな特徴は、仲間との絆の強さだと、門外漢ながら感じています。それはおそらくラグビーが生身の体を激しくぶつけ合う競技であることに由来すると思います。体と体のぶつかり合いがお互いの存在を認め合い、相手をより深く理解し、それが生涯続く絆を結ぶことにつながっていくと思います。ライバルチームの選手との間でも強い連帯感が生じる理由もその辺にあるのではないでしょうか。

70年の間、連綿と続いてきた、ラグビーを通した人と人の絆の歴史をきちんとした記録に留め、先人の思いを後世に語り継ぐのは、節目の年にふさわしい、極めて意義深い事業であります。記念誌の発行に尽力された関係者の皆様に心より敬意を表します。

秋田中央高校では、現在、校舎改築が最終段階を迎えています。すでに教室棟、管理棟、体育館棟ができており、来年度には外構を含めて新しい校舎がすべて完成します。校舎改築の先陣を切ってできた人工芝の新しいラグビー場は、授業やラグビー部の練習はもちろんのこと、他の部や地域の小中学生などにも使ってもらっています。

ラグビー場は三方を一般道に囲まれ、手を伸ばせばすぐに届くような距離で練習が行われています。鮮やかな人工芝の上で展開される迫力あるプレーを、道行く人が間近でしかも日常的に見ることができる場は、おそらく本県でもほとんど例がないと思っています。このことは、ラグビー競技の普及の上でも大きな意義があるものと考えております。

平成32年、秋田中央高校は創立百周年を新しい校舎で迎えます。ラグビー部が今後一層活躍し、百周年に向けて学校に勢いを付けてくれることを心より期待しております。

お祝いの言葉

秋田県ラグビーフットボール協会
会　長 千　田　邦　宏

秋田県立秋田中央高等学校ラグビー部創部70周年おめでとうございます。

昭和21年に秋田市立中学校に誕生した御校ラグビー部は、現在のラグビー部に引き継がれ今年創部70年を迎えました。

勝れた指導者と闘争心に溢れ母校愛に満ちた部員によって素晴らしい70年の伝統を築いてきました。当然ながらOBの皆様の物心両面にわたるご協力と学校側の強力なご支援があったればこその70年だと思っています。

全国大会出場10回という輝かしい実績を残された秋田中央高校ラグビー部はテンポの良い試合運びとモールの強さでこれからもますますご活躍され全国制覇を遂げていただきたいと期待しております。

これからも鍛えあげられた肉体と隙のないデフェンス、そして練りあげられた周到な戦術で秋田県高校ラグビー界をリードしていただきたいと念願しています。

結びに秋田中央高等学校ラグビー部のますますのご発展と関係各位のご活躍を心より祈念してお祝いの言葉といたします。

創部70周年を記念して

秋田県立秋田中央高等学校
ラグビー部　部長　川　井　正　仁

本年、秋田中央高校ラグビー部が創部70周年という節目の年を迎えました。

創部以来、多くの栄光に彩られた歴史を創りあげ、これを受け継ぎ、支え続けてきてくださった皆様に心から敬意を表するとともに、現在我々ラグビー部が活動できていることに心から感謝申し上げます。

今年度は、プレーヤー46名、マネージャー8名の計54名で活動しています。現在、ラグビー部室、スクラム練習場が工事中ですが、完成すれば現在使用中のグラウンドとともに県内はもとより、全国でも屈指の練習環境が整います。これもひとえに、これまで部活動を支えてきてくださった皆様の御苦労があってのことだと存じます。感謝の気持ちを忘れずに、3年連続の花園出場、上位進出、そして悲願の日本一に向け日々の練習に精進して参ります。

先日、昨年に引き続き全国高等学校7人制大会に出場して参りました。おかげさまで予選を全勝で突破し、決勝トーナメントに進むことができました。その際に東京在住の方々も含め、多くのOB、OG、コーチ陣が応援に駆けつけ、選手たちの背中を押してくださいました。見知らぬ会場での「中央、頑張れ」の声がどれだけ選手の支えになったことでしょうか。この連帯感の強さこそが、秋田中央高校ラグビー部のプライドなのだと痛感しました。これまで、多くのOB・OGの方々が築き上げてきた伝統を支えに、現在在籍している部員たちが新しいエッセンスを加え、将来の秋田中央高校ラグビー部員にしっかりと引き継いで行けるよう、監督以下校内スタッフ一同取り組んで参ります。

ゲームパンツに縫い込まれた「乾坤一擲」の文字。

部員たちには、これを身にまとい戦う際には多くの方々の思いが集約されていることを忘れずに、悲願達成に向け、技術面のみならず人間力も高められるよう練習に取り組んでほしいと考えています。そして、ゆくゆくはOB会を、母校を、秋田を支えていく人間に成長してほしいと願っています。そのために、これからも多くの御助言、御指導をいただけますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、創部70周年という節目の年に顧問として関われたことを歴代のOB・OGの皆様、顧問の先生方、部活動に携わったすべての方々に、心から感謝申し上げます。

創部70周年を迎えて

秋田県立秋田中央高等学校
ラグビー部　監督　古　谷　和　義

OB会の皆様、日頃より物心両面にわたるご支援を賜り、感謝申し上げます。また、この度は創部70周年を迎えるにあたり、トレーニング器具一式を寄贈していただき、誠にありがとうございます。

私は本校勤務15年目を迎えました。赴任するときは、このように長い期間お世話になることになるとは夢にも思いませんでした。何の実績もない30そこそこの若造を暖かく迎えてくれ、常に励まし、支えてくださった秋田市立高校・秋田中央高校OB会の方々には感謝の気持ちしかありません。また、日頃から休日返上で熱心に指導してくださるコーチの方々のサポートがなければ、ここまでやってくることはできませんでした。

これまでの14年間で、もっとも印象に残っているのは、やはり42年ぶりの花園出場が決まった瞬間です。伝統校秋田工業高校との決勝戦では、何点差があってもセーフティーリードとはいえません。しかし、だめ押しのトライとなったNO8濱田の独走トライのシーンは、夢を見ているような感覚で、まるでスローモーションを見ているようだったのを覚えています。そしてノーサイドの瞬間、金義悦さんのくしゃくしゃの泣き顔を見て、本当に嬉しく思いました。

現在、校舎改築に伴い、ラグビー場は人工芝となり、二階建ての部室（シャワー、トイレ付き）はまもなく完成します。その他主にラグビー部が使う立派なトレーニングルームもあります。部員たちは恵まれた環境の中で学習・部活動に打ち込むことができます。これも、これまで70年にわたり繋いできた先輩方の努力のおかげです。

創部70周年という記念の年に監督をさせていただいていることをありがたく思います。これからもラグビーを通して生徒一人一人の成長に寄与できるよう精進して参ります。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

2006年（平成18年）

【平成18年度 卒業生】 ※順不同

武田総一朗　斎藤洋介　大森翔平
佐藤祐樹　山田駿介　船木真人
七尾竜馬　安藤孝暢　高橋　窯
小野祐右　中川洋介　竹林龍亮

■公式戦結果

大会名	スコア			結果
中央支部新人大会	1回戦	男鹿工業	40−19	○
中央支部新人大会	準決勝	秋田	12−12	○抽選
中央支部新人大会	決勝	秋田工業	29−26	優勝
平秋田県新人大会	1回戦	男鹿工業	54−7	○
平秋田県新人大会	準決勝	金足農業	94−5	○
平秋田県新人大会	決勝	秋田工業	7−17	×
東北新人大会	1回戦	盛岡工業	5−26	×
東北新人大会		山形中央	31−7	○
中央支部総体	準決勝	秋田	34−14	○
中央支部総体	決勝	秋田工業	5−47	×
秋田県高校総体	2回戦	能代工業	104−0	○
秋田県高校総体	準決勝	秋田	31−5	×
秋田県高校総体	3決	男鹿工業	26−17	○
東北高校ラグビーフットボール大会	1回戦	三本木農業	17−17	×抽選
東北高校ラグビーフットボール大会		不来方	47−19	○
86回全国大会秋田県予選	2回戦	秋田南	72−0	○
86回全国大会秋田県予選	準決勝	秋田工業	5−20	×

2007年（平成19年）

【平成19年度 卒業生】 ※順不同

吉田洋平　高橋翔太　八槻英翔
浜田勇毅　渡部公成　関山歩麻
佐藤正章　佐藤康平　安田真理
滝代圭佑　鈴木　央
奈良敬太　佐藤克俊

■公式戦結果

大会名	スコア			結果
中央支部新人戦	2回戦	金足農業	70−0	○
中央支部新人戦	準決勝	秋田工業	5−46	×
秋田県新人大会	2回戦	大館工業	98−0	○
秋田県新人大会	準決勝	秋田工業	26−0	○
秋田県新人大会	決勝	男鹿工業	12−12	△優勝
東北新人大会	1回戦	仙台三	39−0	○
東北新人大会	準決勝	盛岡工業	0−38	×
東北新人大会		三本木農	15−17	×4位
中央支部総体	準決勝	秋田	45−0	○
中央支部総体	決勝	秋田工業	19−20	×
全県総体	1回戦	能代工業	100−0	○
全県総体	準決勝	秋田	27−12	○
全県総体	決勝	秋田工業	28−33	×
東北高校選手権2部	1回戦	山形南	52−14	○
東北高校選手権2部	準決勝	三本木農	29−12	○
東北高校選手権2部	決勝	青森工業	17−24	×
第87回全国大会秋田県予選	2回戦	金足農業	51−0	○
第87回全国大会秋田県予選	準決勝	男鹿工業	5−5	△
第87回全国大会秋田県予選	決勝	秋田工業	30−10	○優勝
第87回全国大会	1回戦	萩工・萩商工	29−10	○
第87回全国大会	2回戦	青森北	10−26	×

2008年（平成20年）

【平成20年度 卒業生】 ※順不同

吉田祐太　菅原浩太郎　畠山航
鎌田隼綺　畠山智哉　蓬田雄希
谷直哉　三浦正嗣　小林峻
石川一樹　佐々木裕也　福田幸平
伊藤拓真　鈴木智裕

■公式戦結果

大会名	スコア			結果
中央支部新人大会	1回戦	明桜	65−0	○
中央支部新人大会	準決勝	男鹿工業	12−5	○
中央支部新人大会	決勝	秋田工業	14−31	×
秋田県新人大会	2回戦	金足農業	34−0	○
秋田県新人大会	準決勝	男鹿工業	36−0	○
秋田県新人大会	決勝	秋田工業	28−19	優勝
東北新人大会	1回戦	山形中央	83−0	○
東北新人大会	2回戦	仙台育英	10−20	×
東北新人大会		盛岡工業	24−5	○
第9回全国高校選抜大会	1回戦	江の川	5−10	×
第9回全国高校選抜大会	敗者戦	熊谷工業	58−5	○
中央支部総体	準決勝	秋田	43−19	○
中央支部総体	決勝	秋田工業	19−5	優勝
全県総体	1回戦	大館鳳鳴	52−7	○
全県総体	準決勝	秋田	33−5	○
全県総体	決勝	秋田工業	17−10	優勝
第88回全国大会秋田県予選	2回戦	大館鳳鳴	97−5	○
第88回全国大会秋田県予選	準決勝	男鹿工業	52−12	○
第88回全国大会秋田県予選	決勝	秋田	35−19	優勝
第88回全国大会	1回戦	長崎北	24−19	○
第88回全国大会	2回戦	仙台育英	8−7	○
第88回全国大会	3回戦	京都成章	8−34	×

2009年（平成21年）

【平成21年度 卒業生】 ※順不同

冨樫平　菊池映貴　佐藤邦彦
二田健史　柏山慧輔　二田康平
澤木大樹　工藤幸司　小形谷範史
阿部優　熊谷皐輝　高橋貴大
熊谷航　鈴木大将　大山桃華
桑原宗　佐々木滉介

■公式戦結果

大会名	スコア			結果
中央支部新人大会	準決勝	男鹿工業	19−19	×抽選
中央支部新人大会		秋田	56−7	○
秋田県新人大会	1回戦	能代工業	116−0	○
秋田県新人大会	準決勝	男鹿工業	57−20	○
秋田県新人大会	決勝	秋田工業	12−26	×
東北新人大会２部	1回戦	安積	43−7	○
東北新人大会２部	準決勝	黒沢尻北	49−15	○
東北新人大会２部	決勝	秋田	19−21	×
中央支部総体	準決勝	秋田	28−17	○
中央支部総体	決勝	秋田工業	0−7	×
秋田県高校総体	2回戦	能代工業	116−0	○
秋田県高校総体	準決勝	秋田	20−10	○
秋田県高校総体	決勝	秋田工業	14−6	優勝
東北高校ラグビーフットボール大会	1回戦	仙台第三	50−14	○
東北高校ラグビーフットボール大会	準決勝	青森北	45−0	○
東北高校ラグビーフットボール大会	決勝	仙台育英	11−14	×
第89回全国大会秋田県予選	1回戦	大館鳳鳴	55−7	○
第89回全国大会秋田県予選	準決勝	男鹿工業	24−7	○
第89回全国大会秋田県予選	決勝	秋田工業	10−15	×

2010年（平成22年）

【平成22年度 卒業生】 ※順不同

藤田修平　鈴木健士郎　進藤裕之
木村知哉　渡部雄平　高橋裕太
加藤孝顕　高橋大騎　高橋昂輝
佐藤諒　佐藤勇人　石川明華
下間俊豪　古木三裕

■公式戦結果

大会名	スコア			結果
中央支部新人大会	準決勝	男鹿工業	10−34	○
中央支部新人大会	決勝	秋田工業	24−26	×
秋田県新人大会	2回戦	金足農業	55−0	○
秋田県新人大会	準決勝	男鹿工業	55−0	○
秋田県新人大会	決勝	秋田工業	0−5	×
東北高校新人大会	1回戦	仙台育英	41−0	○
東北高校新人大会	準決勝	磐城	52−0	○
東北高校新人大会	決勝	秋田工業	中止	両校優勝
全国高校選抜ラグビーフットボール大会	予選1	本郷	8−24	×
全国高校選抜ラグビーフットボール大会	予選2	佐賀工業	0−8	×
中央支部総体	準決勝	秋田	74−26	○
中央支部総体	決勝	秋田工業	5−32	×
男鹿市招待試合		盛岡工業	19−22	×
秋田県高校総体	1回戦	大館工業	56−0	○
秋田県高校総体	準決勝	秋田	41−0	○
秋田県高校総体	決勝	秋田工業	6−10	×
東北高校ラグビーフットボール大会	1回戦	黒沢尻工業	26−32	×
東北高校ラグビーフットボール大会		山形中央	24−5	○
秋田中央高校創立90周年記念試合		御所実業	5−18	×
第90回全国大会秋田県予選	1回戦	金足農業	47−5	○
第90回全国大会秋田県予選	準決勝	男鹿工業	41−19	○
第90回全国大会秋田県予選	決勝	秋田工業	17−24	×

2011年（平成23年）

【平成23年度 卒業生】 ※順不同

冨樫玄　藤田倫冶　青木美月
池端紘　伊東航　藤原伽那子
阿部康平　吉田良輔　鎌田万穂
小松裕太　佐藤亮　佐藤萌菜美
土橋玄昇　照井康太　(故)山内健太郎
横田航司　吉岡遼
石井和也　伊藤大貴

■公式戦結果

大会名	スコア			結果
中央支部新人大会	準決勝	男鹿工業	22−10	○
中央支部新人大会	決勝	秋田工業	14−29	×
秋田県新人大会	1回戦	大館工業	85−0	○
秋田県新人大会	準決勝	男鹿工業	12−7	○
秋田県高新人大会	決勝	秋田工業	5−17	×
東北高校新人大会	1回戦	黒沢尻工業	17−10	○
東北高校新人大会	準決勝	仙台育英	5−15	×
東北高校新人大会		松韻福島	75−0	○
中央支部総体	準決勝	男鹿工業	43−5	○
中央支部総体	決勝	秋田工業	19−39	×
秋田県高校総体	1回戦	大館工業	98−0	○
秋田県高校総体	準決勝	秋田・秋田南合同	58−0	○
秋田県高校総体	決勝	秋田工業	16−5	優勝
東北高校ラグビーフットボール大会	1回戦	仙台三	67−0	○
東北高校ラグビーフットボール大会	準決勝	黒沢尻工業	26−27	×
東北高校ラグビーフットボール大会		磐城	28−5	○
秋田県民体育大会		男鹿工業	40−5	○
第91回全国大会秋田県予選	1回戦	大館鳳鳴	86−0	○
第91回全国大会秋田県予選	準決勝	秋田	10−3	○
第91回全国大会秋田県予選	決勝	秋田工業	17−15	優勝
第91回全国高等学校ラグビーフットボール大会	1回戦	長崎北陽台	19−34	×

2012年（平成24年）

【平成24年度 卒業生】 ※順不同

徳原　廉　川口直志　松本　幸
南都陸央　北條大紀　鎌田昂平
佐々木岳大　石郷岡悠人　菅原ほなみ
藤田祐平　髙橋和大

■公式戦結果

大会名	スコア			結果
中央支部新人大会	準決勝	秋田	40−7	○
中央支部新人大会	決勝	秋田工業	14−45	×
秋田県新人大会	1回線	大館鳳鳴・大館工	51−7	○
平秋田県新人大会	準決勝	金足農業	88−12	○
秋田県新人大会	決勝	秋田工業	8−36	×
東北高校新人大会2部	1回戦	松韻福島	105−0	○
東北高校新人大会2部	準決勝	八戸西	12−21	×
東北高校新人大会2部	3決	平工業	29−12	○
中央支部総体	準決勝	男鹿工業	33−10	○
中央支部総体	決勝	秋田工業	7−46	×
秋田県高校総体	1回戦	秋田	30−19	○
秋田県高校総体	準決勝	男鹿工業	26−13	○
秋田県高校総体	決勝	秋田工業	0−69	×
東北高校ラグビーフットボール大会	1回戦	黒沢尻工業	43−26	○
東北高校ラグビーフットボール大会	準決勝	青森北	21−24	×
秋田県民体育大会		金足農業	22−21	○
第92回全国大会秋田県予選	2回戦	能代工業	73−10	○
第92回全国大会秋田県予選	準決勝	男鹿工業	24−20	○
第92回全国大会秋田県予選	決勝	秋田工業	0−45	×

2013年（平成25年）

【平成25年度 卒業生】 ※順不同

保坂瑠士　熊谷駿平　佐藤航大
山田一樹　宮川心之介　佐藤冴希
佐藤紀幸　門間照太　武藤大樹
寒川井健哉　柿崎潤人
佐藤晃祐　池田大芽

■公式戦結果

大会名	スコア			結果
中央支部新人大会	準決勝	男鹿工業	15−14	○
中央支部新人大会	決勝	秋田工業	0−53	×
秋田県新人大会	1回線	大館工業	59−0	○
秋田県新人大会	準決勝	金足農業	24−26	×
秋田県新人大会	3決	男鹿工業	36−10	○
東北高校新人大会2部	1回戦	仙台工業	76−7	○
東北高校新人大会2部	準決勝	黒沢尻工業	67−0	○
東北高校新人大会2部	決勝	仙台三	64−5	○
中央支部総体	隼決勝	金足農業	36−7	○
中央支部総体	決勝	秋田工業	7−27	×
秋田県高校総体	1回戦	能代工業	94−0	○
秋田県高校総体	準決勝	金足農業	22−19	○
秋田県高校総体	決勝	秋田工業	13−24	×
東北高校ラグビーフットボール大会	1回戦	青森北	24−19	○
東北高校ラグビーフットボール大会	準決勝	仙台育英	12−38	×
東北高校ラグビーフットボール大会		黒沢尻北	7−41	×
秋田県民体育大会		秋田	28−17	○
第93回全国大会秋田県予選	2回戦	大館工業	96−0	○
第93回全国大会秋田県予選	準決勝	金足農業	35−22	○
第93回全国大会秋田県予選	決勝	秋田工業	10−20	×

2014年（平成26年）

【平成26年度 卒業生】 ※順不同

徳原　奨　日諸南海　土橋永卓
石田　捷　吉田光佑　松本　侑
渡部正一　渡部和樹　伊藤裕矢
鎌田　颯　菅原健太郎　淡路侑紀

■公式戦結果

大会名	スコア			結果
中央支部新人大会	準決勝	金足農業	31−5	○
中央支部新人大会	決勝	秋田工業	5−27	×
秋田県新人大会	1回戦	大館工業	77−0	○
秋田県新人大会	準決勝	男鹿工業	48−12	○
秋田県新人大会	決勝	秋田工業	22−13	優勝
東北高校新人大会	1回戦	石巻工業	53−7	○
東北高校新人大会	準決勝	三本木農業	46−7	○
東北高校新人大会	決勝	仙台育英	中止	優勝
第15回全国選抜大会		國學院久我山	19−29	×
第15回全国選抜大会		名古屋	17−26	×
第15回全国選抜大会		近大附属	14−12	○
中央支部総体	準決勝	金足農業	59−15	○
中央支部総体	決勝	秋田工業	12−25	×
7人制全国大会秋田県予選	1回戦	秋田	26−25	○
7人制全国大会秋田県予選	2回戦	能代工業	47−5	○
7人制全国大会秋田県予選	準決勝	金足農業	31−19	○
7人制全国大会秋田県予選	決勝	秋田工業	7−21	×
秋田県高校総体	1回戦	能代工業	119−0	○
秋田県高校総体	準決勝	金足農業	43−5	○
東北高校ラグビー大会	1回戦	山形中央	81−0	○
東北高校ラグビー大会	準決勝	黒沢尻北	21−19	○
東北高校ラグビー大会	決勝	仙台育英	29−31	×
全国大会秋田県予選	2回戦	秋田	55−5	○
全国大会秋田県予選	準決勝	男鹿工業	34−3	○
全国大会秋田県予選	決勝	秋田工業	20−0	優勝
第94回全国大会	1回戦	若狭東	39−24	○
第94回全国大会	2回戦	佐賀工業	3−19	×

2015年（平成27年）

【平成27年度 卒業生】 ※順不同

本城　玄　藤原　樹　夏井勇大
船木大夢　小林　瑶　桜田　拓
三浦駿平　南都幹央　鈴木海星
小山田陸人　伊藤大地　船木大和
夏井　愁　工藤智亮　石塚真澄
夏井隆一　関向和貴　尾形志絵梨

■公式戦結果

大会名	スコア			結果
中央支部新人大会	準決勝	男鹿工業	54−0	○
中央支部新人大会	決勝	秋田工業	12−24	×
秋田県新人大会	1回戦	秋田	36−7	○
秋田県新人大会	準決勝	男鹿工業	57−15	○
秋田県新人大会	決勝	秋田工業	29−26	優勝
東北高校新人大会	1回戦	山形中央	60−7	○
東北高校新人大会	準決勝	黒沢尻北	33−24	×
東北高校新人大会		三本木農業	29−5	×
第16回全国選抜大会		國學院栃木	19−19	
第16回全国選抜大会		尾道	38−12	○
第16回全国選抜大会		佐賀工業	17−19	×
中央支部総体	準決勝	秋田	55−0	○
中央支部総体	決勝	秋田工業	14−12	優勝
7人制大会秋田県予選	1回戦	男鹿工業	不戦勝	○
7人制大会秋田県予選	準決勝	大館鳳鳴	50−10	○
7人制大会秋田県予選	決勝	秋田工業	42−17	優勝
秋田県高校総体	2回戦	秋田	69−0	○
秋田県高校総体	準決勝	金足農業	58−0	○
秋田県高校総体	決勝	秋田工業	22−17	優勝
東北高校ラグビーフットボール大会	1回戦	山形中央	65−5	○
東北高校ラグビーフットボール大会	準決勝	黒沢尻工業	22−7	○
東北高校ラグビーフットボール大会	決勝	仙台育英	21−38	×
第2回全国高校7人制大会		京都成章	0−45	×
第2回全国高校7人制大会		松山聖陵	12−35	×
第2回全国高校7人制大会		山形中央	50−0	○
第2回全国高校7人制大会		鹿児島実業	47−0	○
第2回全国高校7人制大会		日本航空石川	7−26	×3位
第95回全国大会秋田県予選	2回戦	秋田	28−17	○
第95回全国大会秋田県予選	準決勝	金足農業	50−7	○
第95回全国大会秋田県予選	決勝	秋田工業	10−8	優勝
第95回全国大会	1回戦	広島工業	68−3	○
第95回全国大会	2回戦	桐蔭学園	15−40	×

創部７０周年記念式典

平成28年９月４日(日)
午後５時00分
ホテルメトロポリタン秋田

式　典　次　第

1. 開　　会
2. 黙　　祷
3. 式　　辞　　秋田県立秋田中央高等学校ラグビー部ＯＢ会長　　海　野　達　雄
4. 祝　　辞　　秋田県立秋田中央高等学校長　　渡　部　克　宏
　　秋田県ラグビーフットボール協会会長　　千　田　邦　宏
　　秋田県高体連ラグビー専門部会長　　東海林　大　樹
5. 感謝状贈呈　　被贈呈者　金　　義　悦（前ＯＢ会長）
　　小野崎　幾之助（秋田県ラグビーフットボール協会副会長）
6. 記念品贈呈
7. 祝電披露
8. 校歌斉唱
9. 閉　　会

創部７０周年記念祝賀会

平成28年９月４日(日)
午後５時45分
ホテルメトロポリタン秋田

祝　賀　会　次　第

1. 開　　会
2. 挨　　拶　　創部７０周年記念事業実行委員長（ＯＢ会副会長）　　長谷川　　寛
3. 乾　　杯　　秋田県立秋田中央高等学校同窓会 一交会会長　　竹　下　博　英
4. 祝　　宴
5. テーブルスピーチ
6. 万歳三唱　　秋田県立金足農業高等学校ラグビー部ＯＢ会長　　伊　藤　巧　一
7. 閉　　会